



CASE
1

えだまめスイーツを大館名物に

「枝豆を主軸にした町おこしを目指しました」と塚田悠紘さん



【えだまめのまち大館 | <https://www.facebook.com/edamame.odate/>】

〒017-0044 秋田県大館市御成町 2-8-14 / TEL. 0186-43-3111・FAX. 0186-49-0556
E-mail: info@odatecci.or.jp



A

大館の枝豆がおいしいことを伝えたい。
「えだまめのまち大館」プロジェクト始動

出荷量日本一を誇る秋田の枝豆

秋田県産枝豆は、平成27年・28年と東京都中央卸売市場の出荷量日本一を達成した。

中でも昼夜の寒暖差が大きい夏の気候と、比内地鶏の堆肥で育つ大館の枝豆は、甘くて栄養たっぷり。大館は10品種以上を栽培し、初夏から晩秋まで旬の枝豆を連続出荷できる県内有数の枝豆産地だ。「枝豆日本一の称号を、大館の町おこしの起爆剤にしよう」とプロジェクトを立ち上げました」と大館商工会議所の塚田悠紘さん。その際、当センターの「あきた企業応援ファンド事業」の採択を受けたことが事業推進の後押しになった。

平成26年にJAあきた北と市内の菓子舗や飲食店、大館商工会議所が参加して「えだまめのまち大館」プロジェクトが始動。JAあきた北ではハイテク設備の農産物流通加工センターを竣工。この誕生で枝豆の選果能力が上がり、剥き豆、ペーストなど調理食材の加工も可能になった。和洋菓子店の若手職人の集団「倶楽部スイーツ」は、独自の発想で各店オリジナル枝豆スイーツを作ると同時に、「おおだてえだまめモナカ」を共同開発した。

「えだまめスイーツ」に続く名産品を

発足から3年、塚田さんは「プロジェクトは次の段階に進んでいます」と話す。枝豆の生産・加工体制は整い、スイーツの方向性も見えてきた。

次なる課題は「大館ブランドの確立と品質の高さを前面に出した県外へのPR」だ。県外での販売ルート確立の試金石として、平成30年1月には東京渋谷の「東急百貨店」で催事デビューを控えている。

更には「枝豆のプロジェクトで会得したノウハウを、ほかの名産作りにも活かし新たな可能性を探りたい。名産品を増やすことで、大館の魅力アップに貢献したい」と話してくれた。



B



C

- A 共同開発品「おおだてえだまめモナカ」
- B 倶楽部スイーツの打合せの一コマ
- C 「えだまめのまち大館」のノベルティグッズ。鮮やかな緑が目を引く

- えだまめスイーツが買えるお店
- 大鳳堂 0186-42-0491
- 大正堂 0186-42-0484
- 斎作屋菓子舗 0186-42-0009
- 島内製菓 0186-43-9500
- しんごや 0186-42-2725
- 山田桂月堂 0186-42-0236
- 菓子舗一ノ関 0186-55-0063
- 煉屋菓子舗 0186-42-2405

事業概要 あきた企業応援ファンド事業

地域資源を活用した県内企業や経営革新の承認を受けた県内企業の新商品開発等の取組を支援します。

お問い合わせ あきた企業活性化センター／設備・研究推進課 (018-860-5702)まで。